

# 日刊 動労千葉

84.10.13

No. 1765

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)一九三五・六・(公衆)〇四七二(22)七二〇七

10.10速報2

## 意氣天をつく一万四千の大結集 三里塚・国鉄決戦の爆発・勝利は確実!!

動労千葉第九回定期大会以降一ヶ月間、全支部役員、活動家を先頭とする奮闘はついに3・25を上まわる

六四〇名の大動員を貫徹した。

成田運転区での前段集会、第一公園における労組連一五〇〇名の独自集会を圧倒的に実現し、七割・二五〇名決起を実現した青年部白ヘル部隊を先頭に、動労千葉の大部隊が一四〇〇〇名の歓声と拍手を浴びて本会場へ入場した。

緒戦の勝利を確認し  
新たな闘いへ

| 北原事務局長が

基調を提起 |

動労千葉六四〇名の大部隊が会場割れんばかりの拍手に迎えられて登場し、争集会が始まった。

闘機動隊の暴力を前面におし出した反対同盟破壊攻撃をコッパミジンに粉碎し、本集会がかちとられた」と、高らかに

エ勝利宣言を発した。

島村良助さんが開会を宣言、小川嘉吉さんの主催者代表あいさつにつづいて、北原事務局長より基調が提起された。

1万44名の大結集でかつてない熱気に包まれた三里塚パーク。会場には180万円を突破

島村良助さんは「権力は機動隊を入り、成田用水を着工し、凶暴な弾圧を加え三二名を不適にも逮捕したが、三里塚の正当性ゆえに起訴できなかつた。二期阻止は成田用水を粉碎することだ。革新政党が闘う姿勢を失くしているなかで、動労千葉は全国の労働者に呼びかけ、代表して三里塚を闘っている。一方、三里塚をはじめ住民闘争に様々な敵対をくり返す革マルは権力と一体であり一掃しなければならない。

三里塚は10・10をもって新たな成田用水闘争に決起する。来年3・24に全国集会を開催する」との基調を提起

つづいて9・27の用水阻止闘争で逮捕された反対同盟農民の市東東市、鈴木幸司、伊藤しのぶ、萩原勇一、萩原進さんから「いかなる弾圧にも屈せず、より勝利の確信に燃え闘いぬく」との決意表明が行われ、会場われんばかりの拍手がこれに応えた。

顧問弁護団の一瀬、辻弁護士のあいさつにつづき、動労千葉を代表して中野委員長がたち、「3・25を上まわる動員を実現した力で国鉄・三里塚決戦に勝利する」との決意を表明した。

集会は全国の住民団体のあいさつに移り、関西新空港に反対する住民、日本原、北富士、沖縄、部落解放同盟、佐世保、東京実行委員会、等々、多くの代表から力強い闘争報告と三里塚を闘う決意が表明された。



## 勝利の確信もつて 今秋決戦につき進もう

集会は敷地内代表

・ 小川喜平さん、青

行隊代表・宮本衛さん、婦人行動隊長・

郡司とめさん、部落代表・小川徳太郎さん、萩原亀二さんか

ら断固たる決意が表明され、最後に集会宣言、団結ガンバローをもつてデモに出発した。

動労千葉を先頭に、国労共闘、全通

共闘、教組、自治労など労組連に結集する労働者一五〇〇名の長蛇の隊列の中に、動労千葉の「三里塚・国鉄」路線の正義性、勝利性をはつきりとみてとることができた。

この勝利を全組合員が確認し、いよいよ本格段階に突入した、三里塚と国鉄の今秋決戦勝利へむけて総反撃に決起しよう！

(集会での発言要旨は「第3報」に掲載します。)

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！